

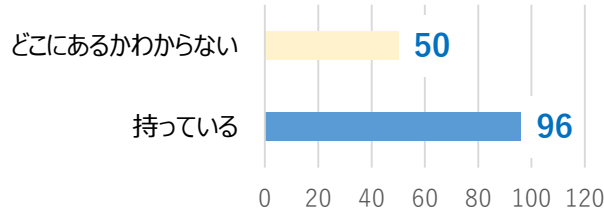
① えみふるふあいの普及について

(1) 3歳児健診時における、ファイルの周知とアンケートによる使用状況の把握

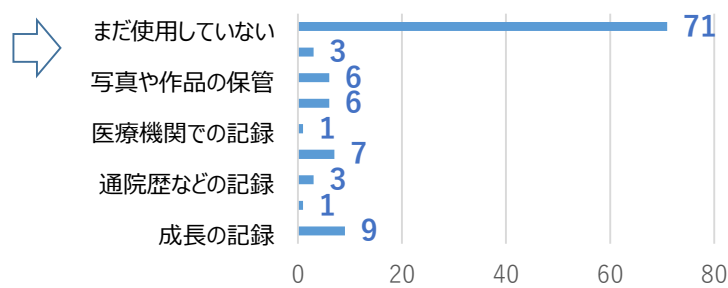
健診受付時に問診票のコピーをとり、えみふるふあいに綴ってもらうよう説明。また、えみふるふあいの目的や使用方法について、活用シートを配布し、個別に職員より改めて周知を図るほか、アンケート調査を実施する。

【調査結果】 R4.3～R4.7に実施した3歳児健診受診の保護者146名から調査票を回収。

Q1 えみふるふあいを持っていますか (S A)



Q2 えみふるふあいをどのように活用していますか (M A)



(2) 使い続けてもらうための取組

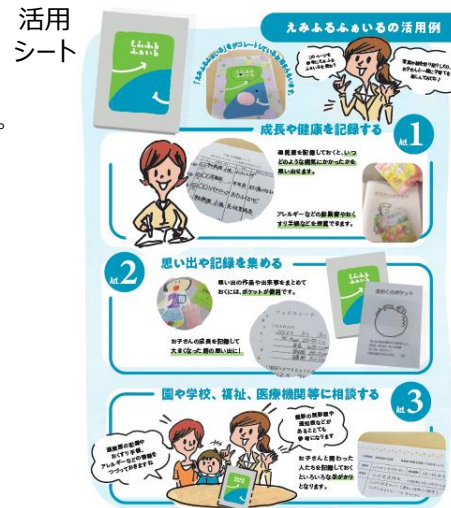
① オプションシートの継続的な使用の促進

健診時や子どもの発達相談、心理やことばの発達に関する面談時に、保護者が助言内容等を記録できるよう各ブースで、相談記録シート、検査記録シートを設置。オプションシートは、市ホームページからも利用が可能。

② 保育園、幼稚園、通所支援施設等を通じた保護者への活用促進

市内、保育園を対象にした説明会にて、保護者に使用してもらうための活用例を園側に提示。成長曲線や教員紹介名簿等、入園当初の活用例を説明。今後、個人懇談シートを作成予定としており、今後も園を通して保護者に対し、ファイルの活用啓発を行う。幼稚園は10月予定。

事業所部会等では、通所支援施設に対し、個別支援計画書を保護者に説明する際に、ファイルに綴ってもらうよう説明。



《説明会日程》	
5月	特別支援保育の会にて保育士等を対象とした説明会
6月	市内小中学校の特別支援学級の教師や特別支援教育コーディネーターを対象に説明会
7月	幼稚園の幼稚園教諭等を対象に説明会を開催
10月	保育園の保育士等を対象に説明を開催予定
1月	事業所部会にて、通所支援施設職員を対象に開催予定

③ 就学時前健診でのえみふるふあいの活用に向けて

来年度以降の就学時前健診でのえみふるふあいの活用に向けて、秋ごろに実施予定の就学時前健診の視察、検討。

③ 保育所等の施設利用状況について

○教育・保育施設別利用状況の集計結果

【集計対象施設】

- ・教育利用：幼稚園5園、認定こども園幼稚園枠3園、広域入所
- ・保育利用：認可保育所12園、認定こども園保育枠3園、小規模保育事業所4園、広域入所

		R2		R3		R4	
		人数	割合	人数	割合	人数	割合
0歳	未就学児童総数	370	-	343	-	310	-
	教育利用	0	-	0	-	0	-
	保育利用	87	23.5%	82	23.9%	78	25.2%
	未利用	283	76.5%	261	76.1%	232	74.8%
1・2歳	未就学児童総数	848	-	788	-	750	-
	教育利用	0	-	0	-	0	-
	保育利用	415	48.9%	404	51.3%	395	52.7%
	未利用	433	51.1%	384	48.7%	355	47.3%
3歳	未就学児童総数	469	-	466	-	393	-
	教育利用	199	42.4%	196	42.1%	159	40.5%
	保育利用	229	48.8%	236	50.6%	215	54.7%
	未利用	41	8.8%	34	7.3%	19	4.8%
4・5歳	未就学児童総数	1,010	-	978	-	942	-
	教育利用	497	49.2%	461	47.1%	436	46.3%
	保育利用	461	45.6%	466	47.7%	458	48.6%
	未利用	52	5.2%	51	5.2%	48	5.1%
合計	未就学児童総数	2,697	-	2,575	-	2,395	-
	教育利用	696	25.8%	657	25.5%	595	24.8%
	保育利用	1,192	44.2%	1,188	46.1%	1,146	47.8%
	未利用	809	33.0%	730	28.4%	654	27.3%

※各年4月1日時点

市内全体の児童数の減少しているが、教育利用については、3歳児、4・5歳児ともに、全体の構成比率は大きく変化していない。保育利用については、各年齢ともに、構成比率が毎年上昇しており、保育ニーズは依然高い状況が続いていることがうかがえる。